

須賀川市中央図書館 ニュースレター



Library news letter

令和3年1月号
(第19号)



○本は予約できません。
○図書館に所蔵していない本は、購入のリンクエラストを受付していません。
(一人年間十二冊まで)
くわしいリンクエラスト方法は、お近くのスタッフまで...



図書館 エリア	書名	著者など	出版社
4階	ザ・ブルーハーツ ドブネズミの伝説	陣野俊史 // 著	河出書房新社
	水のように	浪花千栄子 // 著	朝日新聞出版
	音楽のよろこび	吉田秀和 // 著	河出書房新社
	文豪の死に様	門賀美央子 // 著	誠文堂新光社
	有機農業のチカラ コロナ時代を生きる知恵	大江正章 // 著	コモンズ
3階	困ったときのおへやあそび	近藤理恵 // 著	かもがわ出版
	全国「武将印」徹底ガイド	小和田哲男 // 監修	メイツユニバーサルコンテンツ
	志麻さん式 定番家族ごはん	タサン志麻 // 著	日経BPマーケティング
	医者には患者の何をみているか	國松淳和 // 著	筑摩書房
	ルポトラックドライバー	刈屋大輔 // 著	朝日新聞出版
2階	小学5年生がかいた ざんねん いがい ゆかいな妖怪事典	関本創 // 文・絵	講談社
	ぼくの席がえ	花田鳩子 // 作 藤原ヒロコ // 絵	PHP研究所
	ぼくはいったいなんやねん	岡田よしたか // 著	佼成出版社
	世界のことばあそびえほん	アン・ヘリングほか // 監修 戸田幸一郎 // 絵	戸田デザイン研究室
	絵でさぐる音・光・宇宙 物理学の世界への旅	コリン・スチュアート // 著 シモ・アパディア // 絵 片神貴子 // 訳	岩崎書店

今回掲載した本は一部です。各エリアの新作図書コーナーをご覧ください。



新着図書



イベント情報

ムシテック×中央図書館

化石をみつけよう



こんな化石が掘り出せるかも？



日時：2021年1月23日(土)午前10時～11時30分
場所：市民交流センター3階 ルーム3-2
内容：化石講座と化石掘り出し体験（ムシテック職員）
化石のことを学べる本の紹介（図書館職員）
定員：10名（小学4年生以下のお子さんは保護者同伴）
申込：図書館カウンター、または電話で受付
(電話：0248-75-3309)

持ち物：軍手



明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年はコロナ禍が全国で猛威を振るい、中央図書館も一時閉館せざるを得ない状況になりましたが、できる限りの対策を施し何とか開館を続け12月には100万人の来館者を迎えることが出来ました。ありがとうございました。

本年は、市民の皆さんに身近で便利な図書館であり続けるよう、職員一同が一層の創意工夫を重ねて参りますので、皆様の叱咤激励をよろしく願います。 館長



なんでもピックアップ♪



ぬいぐるみおとまり会

12月21日（月）から23日（水）まで、申込のあった子どもたちからぬいぐるみをお借りして「ぬいぐるみおとまり会」を開催しました。

事前にどこで撮影したいか子どもたちに希望を聞き、夜の図書館で撮影を行い、24日（木）に写真を添えてぬいぐるみをお返ししました。

どんな写真が撮れたか知っているのは、参加してくれた子どもたちだけ。

子どもたちに大切にされているたくさんのぬいぐるみが集まるのは壮観です。もしかしたら、寝ている間に本当に動いていたぬいぐるみもあったかもしれません…。

大人のための朗読会

12月6日（日）午後1時30分から、元福島テレビアナウンサー原國雄さん、原孝江さん、柿崎順子さん、フリーアナウンサー菅原美智子さんをお招きして、朗読会を開催いたしました。原さん達は、令和元年末まで、「原國雄と仲間たち」という朗読集団として活動されていて、平成26年に図書館で朗読会を開催しています。図書館がtetteに移ってからは初めての公演になりました。アナウンサー達が言葉で紡ぐ物語の世界観に酔いしれるひとときでした。「妻とマラソン」「只見川」「てとてとてとて」「十三夜」の4作品を朗読公演していただきました。



図書館スタッフのイチオシ！本



書名：『すきまのおともだちたち』
著者：江國香織
出版社：白泉社
出版年：2005年6月
所蔵場所：テツテ3階
メインライブラリー（まなぶ）
請求記号：F ハ



「すきま」という不思議な世界の中に時々迷子になる大人の私と、「すきま」の世界でお庭のレモンの木からレモネードを作り針仕事で暮らす女の子と、車を運転しお喋りも出来ちゃう古びたお皿。

この「すきま」で出会った永遠に変わることのないものたちと私はたくさんの友情を育む。

「すきま」の住人はずっと変わらないけど次に女の子に会った時に自分は変化している。奇妙で切なくて懐かしい、いろんな気持ちが入り交じって大人が読む絵本のようなと思いました。

現実ともうひとつの現実。お話に出てくるなんとも可愛い町とすてきな言葉。こみねゆらさんの挿絵も柔らかくて優しくきらきらして、どこか懐かしく大切なことを思い出させてくれます。

海外の児童書のような絵本のような…

そんな雰囲気の後感になれる本です。

（担当：2階 スタッフA）

発行：須賀川市中央図書館 令和3年1月1日
住所：須賀川市中町4-1 須賀川市民交流センター tette(テツテ)内
電話：0248-75-3309
開館日：月・水～土 9:00～20:00、日・祝 9:00～18:00
休館日：毎週火曜日、特別整理期間、年末年始(12月29日～1月3日)